

にこにこ
キラキラ

子どもの豊かな学びを 地域のかで

東広島市では、子どもたちの成長を支えるため、家庭・地域・学校が連携し、子どもたちの「もっと知りたい」「やってみたい」を応援する環境づくりを進めています。学校の職員とともに地域の人々が自分ごととして関わることで、子どもの豊かな学びと、世代を超えたつながりが生まれ、地域共生社会の実現にもつながります。

あなたもできることから関わってみませんか。

☎ 指導課 ☎ (082) 420-0976 青少年育成課 ☎ (082) 420-0929



昔遊びの玩具で一緒に遊ぶ風早小学校の児童と地域ボランティア

校内にいて学校と密に連携しつつ、地域の窓口の岩井さんといつでも相談できるのでとてもスムーズです。先生の負担軽減にもつながっているかな。子どもの笑顔近くで見られるのも楽しい!

地元住民だからこそ分かる視点で課題を出してもらったり、知恵を借りたりすることで、子どもたちはリアルな学びが得られます。地域の人との交流で芽生える絆こそが何よりの財産です。

子どもたちから元気と癒やしをもらっています。無理なく、できる人ができる時に、できることをするスタイルで、一緒に活動を楽しめる仲間を増やしていきたいです。

八本松町★川上地区
地域と学校の連携を推進する皆さんの声

学校の窓口
コミュニティ・スクール推進員
立山さん

校長
川上小学校
菅さん

地域の窓口
地域学校協働活動推進員
岩井さん



課題

人口減少や少子高齢化が進む中、子ども・家庭・地域、学校を取り巻く環境は変わり、それぞれに課題が生じています。

例えば
子ども・家庭

地域と関わる体験の減少

地域

地域のつながりの希薄化

学校

- 子どもの興味関心の多様化
- 加速度的に変化する教育環境への対応

こうした課題を解決するため 地域と学校が連携

地域と学校が目標を共有し、ともに子どもたちの成長を支える活動を行っています。

コミュニティ・スクール

(地域住民などで組織する学校運営協議会を学校に設置する制度。市内全ての公立小中学校に導入)

地域に相談

学校の窓口
コミュニティ・スクール推進員

学校に地域の活動者を紹介

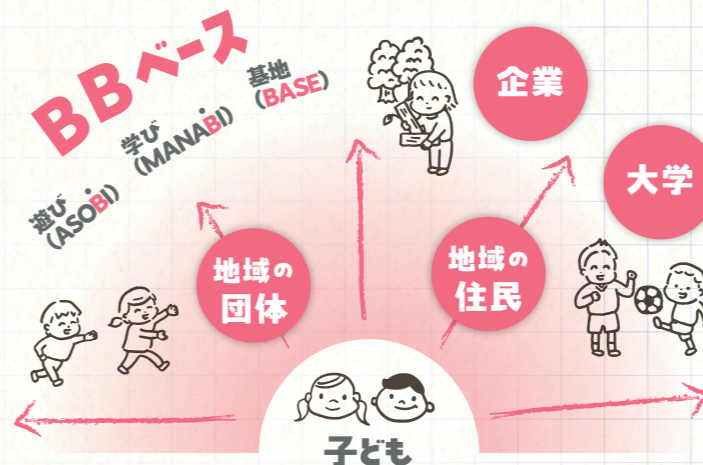
地域の窓口
地域学校協働活動推進員

地域と学校が連携した活動

- 授業や部活動の支援
- 地域の行事
- 登下校などの見守り
- 郷土学習 など
- 放課後子ども教室

さらに… 地域に広がるBBベース

「BBベース」とは、遊び (ASOBI)、学び (MANABI) があり、子どもにとって基地 (BASE) となる居場所。具体的な場所だけでなく、時間や人とのつながりも含んだこの居場所を意味する東広島市独自の概念です。地域と学校が連携した活動がさらに発展し、企業や大学を含め、地域が主体となった子どもの居場所づくりが広がっていきます。



地域共生社会の実現へ…

子どもにこにこ 地域キラキラ

子どもたちの豊かな成長をはじめ、市民一人一人のWell-being (幸福感) や地域の活力向上につながります。

地域全体の
Well-being (幸福感)
ウェル・ビーイング



地域×学校 連携した取り組み

川上小学校

授業や学校行事のサポート

令和7年度は、地域住民約20人がボランティアとして登録し、年間延べ230人が活動しました。登下校の交通指導や学校行事・授業のサポート、ときには講師となって子どもの学びや育ちを支えました。



昔遊びを教える授業。あやとりやけん玉、お手玉などが得意な地域住民が講師を担当



持久走大会を安全に行えるように地域住民が見守りスタッフとして参加



家庭科の授業で地域住民がミシンの操作をサポート。一人一人のペースに合わせて指導



地域ボランティアが見守り中、昔遊びの玩具や絵本がある部屋で思い思いに過ごす児童



子どもたちの入学直後の緊張を、遊びを通してほぐせたらと昨年参加し、元気な姿に私も力をもらっています。安芸津町の人口は減少しており、大切な子どもたちを地域で見守っていきたくと思っています。

地域ボランティア 新藤さん

風早小学校

入学直後の児童の見守り

入学直後の1年生の緊張を和らげようと、始業前の30分間、自由に過ごせる部屋を設け、開放。2~3人の地域ボランティアが見守り、子どもたちが小学校の環境に慣れ、安心して登校できるようサポートします。



学校で地域の人に会えてうれしかったし、みんなでいろいろ遊べて面白かった。明日も学校に行くのが楽しみ!

風早小学校 上岡さん



学校で地域の人に会えてうれしかったし、みんなでいろいろ遊べて面白かった。明日も学校に行くのが楽しみ!

風早小学校 上岡さん

志和放課後子ども教室 すばる

市内15
小学校区で
実施中

放課後子ども教室とは

地域住民と一緒に遊んで学ぶ子どもの居場所「BBベース」の一つ。放課後や週末に、地域センターや小学校などで開室。地域が主体となり、多様な活動が行われています。

児童と地域住民が顔見知り

志和小学校の児童約半数が利用登録しており、年12回、放課後17時まで開室。元小学校教員や保育士などの地域住民が宿題の見守りや行事など、地域ならではのさまざまな活動を企画しています。

令和4年の志和小学校の開校とともに取り組みをスタートしました。1年生から高学年へと成長していく姿を見守れることや、街中で「すばるの先生だ」と声をかけられることに喜びを感じています。放課後子ども教室は、地域と学校が繋がる大切な場所です。

すばる 代表 笠井さん



お菓子作りなどの調理実習

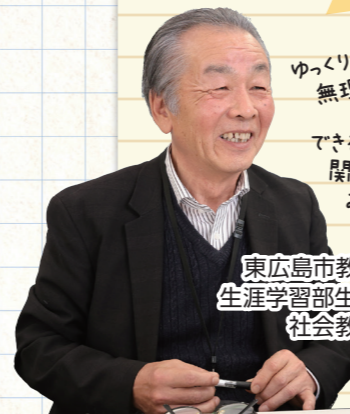


地域住民に教わりながらスライム作り

地域の皆さんへの
メッセージ

コミュニティ・スクール制度導入に携わり、現在はコミュニティ・スクール推進の助言・相談業務に携わる岡田さんに聞きました。

地域住民だからこそ担える「第三の大人」の役割



東広島市教育委員会
生涯学習部生涯学習課
社会教育指導員
岡田さん

ゆっくりじっくり無理せず楽しく!
できることから関わってみませんか

コミュニティ・スクールの導入で、子どもたちは教員や親に加え「第三の大人」と関わる機会が増えました。多様な価値観に触れ、社会性が育まれ、子どもが成長する様子を多く見えています。また、学校では教員の授業の質の向上、地域では自己実現や仲間づくりなど、コミュニ

ティ・スクールを通してそれぞれに好循環が生まれていることを実感しています。

子どもの「第三の大人」になれるのは、地域住民だからこそ。子どもをまんなかにした活動を通して、人と人とのつながりを深め、地域の力を育てていきませんか。

特集に関する アンケート実施中!

回答期限は5月31日(日)
こちらから回答できます▶

